

Over Cancer Together ～がんを共にのりこえよう～
サバイバー・スピーキング・セミナー
開催報告



2015年3月28日
東京・秋葉原UDX

セミナー概要

1. 開催日: 2015年3月28日 / 10:00 ~17:30
2. 会場: 東京 秋葉原UDX
3. 主催者: OCT運営委員会 (日本医療政策機構、キャンサーネットジャパン、Japan for LIVESTRONG)

参加者概要

1. 参加者: がんサバイバー(患者のみならず、家族、遺族、ケアをする人など、がんに関わる全ての方を含む)
2. 参加者数: 日本全国からの約50名の応募者より、バランスを考えて選んだ30名が参加
3. 年齢: 21~70歳
4. 職業: 元看護師長、会社社長、薬剤師、僧侶、学生、主婦、医師等

開催目的:

がんサバイバーが自分のがん体験をアドボカシー手段として効果的に公の場でシェアすることに関わることを支援する。

プログラム:

時間	プログラム内容	スピーカー
10:00-10:05	ウェルカム・イントロダクション	
10:05-10:30	アイスブレイキング	Japan for LIVESTRONG 中村純子
10:30-10:45	Over Cancer Togetherキャンペーンの概要	日本医療政策機構 園村三樹
10:45-11:15	"Power of Storytelling" 語りの力 体験談を話すことで何が変わるのか?	第1回セミナー参加者から
11:15-11:45	メディアからサバイバーに期待すること	毎日放送 報道局記者 橋本佐与子
11:45-12:15	医療者からサバイバーに期待すること	聖路加病院 乳腺外科部長 プレストセンター長 山内英子
12:15-13:15	昼食	
13:15-13:45	がんの政策について知ろう	厚生労働省 健康局 がん対策・健康増進課 がん対策推進官 江副聡
13:45-14:45	体験談を作成する「あなたの体験をどうアドボカシーに活用するか」 ✓ 体験談のテーマの設定 ✓ 体験談の組み立て ✓ 体験談を書く・ペアワーク	日本医療政策機構 小山田万里子
14:45-15:15	体験談を発信する ✓ 公の場で話すコツ ✓ ソーシャルメディアを利用する ✓ 体験談からアクションにつなげるには	キャンサーネットジャパン 柳澤昭浩・川上祥子 厚生労働省がん対策推進協議会委員 特定非営利活動法人 日本がん・生殖医療研 究会 患者ネットワーク担当 阿南里恵
15:15-16:15	体験談仕上げ・グループワーク	
16:15-16:45	発表(各グループ代表6人x5分)	
16:45-17:15	総評	昭和大学保健医療学部研究科 がん看護専門看護師コース 教授 株式会社緩和ケアパートナーズ 梅田恵 厚生労働省 健康局 がん対策・健康増進課 がん対策推進官 江副聡 北里大学病院集学的がん診療センター センター長 佐々木治一郎 国立がん研究センター がん対策情報センター センター長 若尾文彦 山梨まんまくらぶ 代表 若尾直子

本セミナーには全国から約50通の応募があり、年齢、立場、癌腫などが偏らないよう、30名が選ばれ、参加した。

様々な年齢や立場の「がんサバイバー」30名は、ゲームを使った自己紹介のアイスブレイキングのあと、第一回セミナー参加者で、その後さまざまな患者活動に関わっている3名のがんサバイバーの体験談を聞いた。1年半前は1サバイバーに過ぎなかった彼らが、セミナーで何を学び、その後、どのような活動をするようになったか、という話をきくことで、セミナーのテーマである「体験談」がどれだけ力強いかを実感することとなった。

その後、医療者、メディア、厚生労働省のがんをめぐる各ステークホルダーから、それぞれの立場の活動、がんサバイバーに期待することの講演を受け、それらの話を踏まえて、自分のがんの体験談をどう効果的に作成し、発表し、活動につなげるかを学んだ。そして実際に体験談を組み立て、グループで共有の後、最後に各グループより代表1名が全参加者と他ステークホルダーの前で発表をし、講評をいただいて閉会した。時間の都合でグループで1名のみでの発表となったが、自分も発表したかったという声が多く聞かれ、参加者の活動への意欲の高まりを感じることができた。

また参加した、医療者、メディア、企業、すでにアドボケートとして活躍している患者リーダーからも、体験談に心動かされたコメントが多く出た。

終了後もFacebookグループでグループのコミュニケーションを継続している。体験談を話す場としては、8月に開かれるアキバキャンサーフォーラムをまずは目標に、体験談をしあげることを目指している。

1. アイスブレイキング – Japan for LIVESTRONG 中村絢子さん



自身もサバイバーであり、バイリンガルコメディアンでもある中村さんによる、普通の自己紹介ではなく、ゲームを使った自己紹介。名前を覚える、相手の顔を見るということが自然にでき、朝の寝ぼけた頭を起こすのにちょうどいい頭の体操にもなりました。ほかの人につられたり、混乱したりして笑いが起きることで和やかなスタートとなりました。

2. Over Cancer Together キャンペーンの概要 – 日本医療政策機構 國村三樹

OCTキャンペーンは、がんサバイバーの声で社会を変えよう、というものです。日本医療政策機構 國村より、2012年にLIVESTRONG財団の助成金のもと立ち上がったOCTキャンペーンの概要とこれまでの実績について説明いたしました。



3. Power of Storytelling 語りの力～体験談を話すことで何が変わるのか。

— 清水敏明さん、岸田徹さん、宗像若菜さん



第一回セミナー参加者で、今メディア、ブログ、患者委員として活躍されている、清水さん、岸田さん、宗像さんの3名が、体験談を話すことで何が変わるか、何が変わったのか。参加者は同じ「サバイバー」の3名が語る体験談を聞くことで、そのパワーを実感しました。

4. メディアからサバイバーに期待すること — MBS毎日放送 橋本佐与子さん

このセッションでは、発信する上で関わりを持つようになる、メディア。メディアの側ががんに関する番組を作る際に気をつけていること、取材する側からのアドバイスをいただき、より上手にメディアと協力して発信できるようになることを目指します。講師としてMBS毎日放送の記者橋本さんにお越しいただきました。



5. 医療者からサバイバーに期待すること — 聖路加国際病院 山内英子さん



OCTを最初から暖かく見守ってくださっている山内先生。今回もまた山内先生の患者さんへより良い医療を提供したいという熱い思いと、これから発信を始めようとする参加者へのエールをいただきました。

6. がんの政策について知ろう — 厚生労働省 江副聡さん

がんの体験談を発信し、社会を変えようと思ったら、国がどんながん対策をしているのかわかる必要があります。我が国のがんの状況、がん対策の歴史、これまでの取り組みとその成果、就労やがん登録など、国として今取り組んでいる課題についてお話しいただきました。



体験談を作成する — 日本医療政策 小山田万里子



さて、さまざまな立場の方から、がんサバイバーに期待することをお伺いしたあとは、それをふまえた体験談作成です。文章の組み立て、いくつかのコツを聞いて、作成し、ペアやグループワークを通して、お互いの体験談を発表しました。



体験談を発信する — キャンサーネットジャパン 川上祥子、柳澤昭浩 — 厚生労働省がん対策推進協議会委員 阿南里恵さん

まず、キャンサーネットジャパンの川上さんより「公の場で話すコツ」について、講演いただきました。

マナーや身だしなみのことから、講演を依頼されたら、ただ話したいことを話すのではなく、聴衆は誰で、会の目的は何で、主催者に何を期待されているのかを考えながら話すことの大切さ、伝えるためのコツ、事後のフォローなど教えていただきました。



続いて同じくキャンサーネットジャパンの柳澤さんより、効果的なSNSの使い方についてご講演いただきました。気軽に使えるSNSも、患者アドボカシーとして発信するなら気をつけておかないといけないことを教えていただきました。

続いて、現在国の厚生労働省がん対策推進協議会委員として活躍されている阿南里恵さんより、セミナー終了後、どう活動を始めればいいのか、まず身近なところから始めたらよいことや、自分の体験が最も生きるテーマを考えることなど、活動を始める上でのアドバイスをいただきました。



発表

さて、最後は発表です。時間の都合で各グループ1名でしたが、子どもを持ってないということへのショック、独り身の心細さ、など、実際に体験したからこそ強い体験談とメッセージを発表してくださいました。涙も、笑い、爆弾発言ありで大いに盛り上がりました。時間がなくてもっと多くの方に発表していただけなかったのが残念でした。



総評

がんに関連したさまざまな立場で関わり、第一線で活躍されている皆様より、総評として、感想と激励の言葉をいただきました。



山梨まんまくらぶ
代表 若尾 直子さん



対がん協会 関原 健夫さん



北里大学病院集学的がん診療センター
センター長
佐々木 治一郎さん



厚生労働省
健康局 がん対策・健康増進課
がん対策推進官
江副 聡さん



昭和大学保健医療学部研究科
がん看護専門看護師コース 教授
株式会社緩和ケアパートナーズ
梅田 恵さん



国立がん研究センター
がん対策情報センター センター長
若尾 文彦 さん



「ナースプレス」編集長
星 朋さん



がん看護専門看護師
林 あり子さん

修了式/懇親会

終了後は懇親会で、修了証授与があり、全員一言発表があり、カジュアルな雰囲気の中で、受講者、講師の方、パネルの方がカジュアルな雰囲気の中で、ネットワーキングをしました。今回もまたここで新しいパートナーシップが生まれまらるでしょう。

